

# ハリケーン・カトリーナのその後

～米国における最近のハリケーン災害と減災対策の改善～

## 講演会／無料

日時：平成 21 年 10 月 13 日（火）

10:30～12:00（受付 10:00～）

場所：発明会館ホール 東京都港区虎ノ門 2-9-14

### 【お申込み】

当センターHP (<http://www.cdit.or.jp/>) よりお申込頂けます

締切 平成 21 年 10 月 8 日（木）／定員 260 名

### 【問い合わせ】

（財）沿岸技術研究センター 企画部／TEL 03-3234-5862

テキサスA&M  
大学教授

Billy L. Edge

—通訳有り—



近年、国内では東海・東南海地震や宮城県沖地震の発生が懸念されるとともに、海外ではインド洋大津波による惨事など、自然の猛威による大災害が発生しています。このような中で、沿岸技術研究センターでは、安全・安心の国土づくりのため、センター内に「沿岸防災技術研究所」を設置するとともに、国土交通省、(独)港湾空港技術研究所及び内外の研究者と協働し、また情報交換を密にして防災業務に取り組んで参りました。

米国では2005年、ハリケーン・カトリーナによって、ゼロメートル地帯が大部分を占めるニューオーリンズ市街は壊滅的な高潮災害に見舞われました。臨海部に産業・人口が集積する我が国においては、この災害から様々なことを教訓として学ぶ必要があります。

そこで、今般、当センターのカウンターパートであり沿岸防災に造詣が深く、ハリケーン・カトリーナ災害調査委員長を務めたテキサス A&M 大学教授 Billy L. Edge 氏をお招きし、「米国における最近のハリケーン災害と減災対策の改善」についてご講演を頂くこととしております。

より多くの皆様のご来聴を期待しております。